

2022 年度供給計画の概要

当社は、2022 年度から 2026 年度までの 5 カ年の供給計画を策定いたしました。

1. はじめに

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の断続的な感染拡大が見られたなか、経済社会活動の正常化に伴う景気の持ち直しが期待されていましたが、新たな変異株の蔓延が急激に広がるなど、未だ感染収束の兆しは見えず先行きも不透明なことから、今後も十分に注視していく必要があります。

そのような中、エネルギー業界におきましては電力・ガス小売全面自由化の進展に伴い、業種や地域の垣根を超えた競争が一層激しさを増しております。また、2050 年までに温室効果ガスの排出量をゼロにする「2050 年カーボンニュートラル」を目指す方針が政府から示される中で、エネルギー業界のみならず社会全体として脱炭素の機運が高まるなど、当社グループを取り巻く環境も大きく変化しつつあります。

2021 年度の当社の状況といたしましては、総力をあげて都市ガスの普及拡大に取り組むとともに、継続して行っております経年ガス管入替、安全型ガス機器の普及拡大等、将来に向けた強固な事業基盤を築き上げる施策も着実に展開してまいりました。

2022 年度の設備投資につきましても、ガスの供給安定性向上と需要維持・拡大に資する観点から案件を精査し、4,446 百万円の計画を策定いたしました。当社を取り巻く厳しい状況を踏まえながらも、将来を見据えて必要不可欠な案件には積極的に投資してまいります。

2. ガス需給計画

お客さま件数については、2026 年度 423,380 件を見込んでおり、ガス販売量については、2026 年度 401,174 千 m³ を計画しております。

(単位：45MJ、千 m³)

	2021 年度 (見込)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
お客さま件数(年度末)	421,535	421,920	422,390	422,720	423,050	423,380
ガス販売量(千 m ³)	414,886	407,958	407,006	405,102	403,135	401,174

3. 導管設備計画

導管設備については、2026 年度末時点の総延長を 6,135 km と見込んでおります。

(単位：km)

	2021 年度 (見込)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
導管総延長(年度末)	6,078	6,090	6,103	6,112	6,122	6,135

4. 設備投資計画(一般ガス導管事業)

設備投資については、2022 年度 4,446 百万円を計画し、本期間中、5 年間総額では 20,698 百万円を計画しております。

(単位：百万円)

	2021 年度 (見込)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
設備投資額	4,406	4,446	4,511	4,043	3,911	3,787

以上